

表彰区分	マロニエ建築優良賞	
作品名	宇都宮市 FS 邸 4 G-house	
所在地	宇都宮市峰	
用途	一戸建て住宅	
建物概要	構造：W造	敷地面積：420.09 m ²
	階数：地上2階、地下0階	延べ面積：206.33 m ²
建築主	栃木県宇都宮市峰 藤田 悦夫	
設計者	栃木県宇都宮市峰 下川彰建築設計事務所	
施工者	栃木県宇都宮市上横倉町 309 株式会社 イケダ工務店	

講 評

宇都宮市内の住宅地で二代に渡り暮らした住宅から、4世代が一緒に暮らす住宅への建て替え計画である。敷地は、間口が狭く奥行きが深いいわゆるウナギの寝床のような形状であり、その条件のなかで、道路や隣地からプライバシーを確保しつつ、いかに自然光を取り入れ開いていくかがテーマになっている。また、多世代が一つ屋根の下に暮らしていく場合、遠からず近からずというようなお互いの距離感の取り方が常に問題であり、それを空間的にどう対処するかが重要な課題になる。それらの課題に対し、周囲からの視線を外しつつ、中心部で直交する中庭と通り道で自然光を導き、空間全体をつなぎながら見え隠れを調整して、家族相互の気配を感じながらプライベート感を確保することで、見事に答えている。外光が室内にあふれる明るく開放的な空間のなかで、世代間がお互いほどよい距離感を保ちながら活発さと穏やかさの両面の生活が想像される住宅である。まちなかの良好とは言えない敷地条件のなかでも、設計上の工夫の仕方次第で多世代が心地よく暮らせる空間をつくることを示した好例であると評価できる。



©渡邊峻生

